

日薬業発第59号  
令和8年5月13日

日本医薬品卸勤務薬剤師会  
会長 師尾 仁 様

公益社団法人 日本薬剤師会  
会長 岩月 道  
第59回日本薬剤師会学術大会  
大会運営委員長 荻野 構 一  
(公益社団法人 新潟県薬剤師会 会長)



### 第59回日本薬剤師会学術大会（新潟大会）開催のご案内について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本会会務につき何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本薬剤師会並びに新潟県薬剤師会の主催による標記学術大会が、令和8年10月11日（日）・12日（月・祝）の2日間、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター等を会場として、開催予定です（別添参照）。

本年度大会は「‘TOKI’ MEKI～薬剤師の未来へ希望を繋げよう～」をメインテーマに、テーマ別分科会形式によりシンポジウム、会員による研究発表（口頭、ポスターセッション）等を中心に実施予定です。

つきましては、貴会所属の多数の薬剤師の方々に同学術大会へ参加登録いただきたく存じますので、ご多忙のところ誠に恐縮ながら、ご周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本大会の開催に関する最新の情報等は、大会ホームページ（<https://www.congre.co.jp/jpa59/>）にてご案内いたしておりますので、併せて関係者にご周知賜りたく、よろしくようお願い申し上げます。

敬 具

# 第59回日本薬剤師会学術大会開催案内(予告④)



## ◆第59回新潟大会ホームページ

<https://www.congre.co.jp/jpa59/>

右記QRコードからもご覧いただけます。



1. 会期 2026(令和8)年10月11日(日)～12日(月・祝)
2. 会場 メイン会場:朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター・ホテル日航新潟  
サブ会場:ANAクラウンプラザホテル新潟(10月11日のみ)
3. 主催 公益社団法人日本薬剤師会  
公益社団法人新潟県薬剤師会
4. メインテーマ ‘TOKI’ MEKI～薬剤師の未来へ希望を繋げよう～
5. 参加登録費
  - (1) 学術大会参加費
 

事前登録	11,000円(学生 1,000円)
通常・当日登録	15,000円(学生 1,000円)
  - (2) 懇親会参加費
 

事前登録	12,000円(学生 5,000円)
通常・当日登録	14,000円(学生 5,000円)

## 6. 参加登録

- (1) 登録方法  
大会ホームページからご登録ください。
- (2) 事前登録期間(予定)  
2026(令和8)年5月1日(金)～8月5日(水)

## 7. 宿泊予約

- (1) 予約方法  
大会ホームページからご予約ください。
- (2) 予約期間(予定)  
2026(令和8)年5月1日(金)～

## 8. 開催形式

現地開催+後日オンデマンド配信(予定)

## 9. 特別記念講演

「認知症の最前線」

長谷川成人(公益財団法人東京都医学総合研究所 臨床医科学研究分野 認知症研究プロジェクト 副所長・臨床医科学研究分野長)

## 10. 特別講演

- 「未病を捉える力—幸福寿命の延伸と老化負債の返済」  
伊藤裕(慶應義塾大学予防医療センター 特任教授)
- 「ゲノムで読み解く日本人の多様性」  
篠田謙一(国立科学博物館 前館長)
- 「女性の健康を支えるために—医療職に求められる視点と連携」  
小宮ひろみ(女性の健康総合センター センター長)

## 11. 特別文化講演・県民公開講座

「ときめきのとき～芸術は身近なもの～」

宮田亮平(日展理事長, 第22代文化庁長官, 第9代東京芸術大学学長)

## 12. 県薬企画

「北陸信越の挑戦!～地域に根差した取り組みを全国へ～」

北陸信越ブロック5県のシンポジストが薬剤師・薬局として各県での地域に根差した特有の取り組みについて紹介し, 全国の薬剤師が自地域の未来の取り組みに活かせるヒントや視点を提供します。

## 13. 分科会テーマ

- ・2026年から, TOKIめく未来へ～社会の期待と制度の変化から考える薬剤師の未来
- ・薬剤師の未来の可能性を拓くキャリアパス～資格の先に見える新たなステージ
- ・医療DX×薬剤師の未来図～安心・持続可能な地域医療の実現に向けて

- ・高齢者とポリファーマシー対策～薬剤師に求められる視点と実践
- ・薬局から始める地域健康支援～未病対策・栄養管理・在宅支援をつなぐ薬剤師の新たな役割
- ・リハビリテーション薬剤と薬剤師の関わりと多職種連携
- ・抗精神病薬適正使用の実践～薬局・病院薬剤師による多職種連携
- ・薬剤師がつなぐ命・希望のサポート～オーバードーズ防止と自殺予防への地域の取り組み
- ・地域で支える在宅医療の基盤づくり～薬局機能の明確化と提供体制の整備を考える
- ・心不全ケアにおける薬局薬剤師の可能性～継続的フォローアップと多職種連携の実践
- ・進むがん治療の地域移行と薬剤師の関わり～連携と支援でつなぐ患者の生き方
- ・CKDを見逃さない地域づくり～薬剤師が担う予防・治療・連携の実践
- ・命と健康を支える薬剤師の対応～緊急避妊薬OTC化を契機として
- ・広がるスポーツファーマシストの専門性～アンチ・ドーピングからスポーツ科学へ
- ・薬剤師を「育て、支え、地域につなぐ」～薬学教育・実習を軸とした現場と大学の協働に向けて
- ・災害薬事を「動かす」薬剤師～地域体制・組織運営・行政連携の最前線
- ・薬剤師が守る地域の希望と未来～多角的な感染症対策と専門性
- ・学校薬剤師の新たな挑戦～学校とともに築く“安全・安心”の環境づくり
- ・変わる“小児のくすり”と薬剤師の挑戦～味・量・伝え方まで支える専門性

14. 共催セミナーの予約について

ランチョンセミナー等は事前申込制です。参加登録システムのマイページからお申し込みください。参加費は無料です。予約開始は7月上旬を予定しています。予約方法など、詳細は大会ホームページをご確認ください。

15. 単位

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度（現地参集もしくはオンデマンド配信）の単位を付与予定です。

16. 一般演題（口頭・ポスター）

「日本薬剤師会学術大会 一般演題（会員発表）投稿規程（令和4年3月4日理事会制定）」および「日本薬剤師会学術大会 一般演題（会員発表）の演題要旨投稿および発表に関するガイドライン」（令和6年12月改定）を遵守の上、ご応募ください。

(1) 応募方法

大会ホームページからご応募ください。

(2) 一般演題登録期間

2026（令和8）年3月3日（火）～5月7日（木）正午（期限延長）

(3) 応募資格

応募者と発表者は同一人物とし、日本薬剤師会の「正会員」に限ります。但し、入会手続き中の方および薬学生はこの限りではありません。

入会手続きについては、ご自宅か勤務先のある都道府県の薬剤師会にお問い合わせください。

共同研究者は、非会員でも差し支えありません。一般演題の発表は1人1演題までです。

(4) 発表形式と演題分類

〈発表形式〉

①口頭発表：PowerPointを用いたデジタルプレゼンテーション（パソコン）のみです。

②ポスター発表（自由討論形式）：ポスターを貼付するスペースは横幅90cm×縦幅160cm（予定）です。

〈演題分類〉

演題登録時に、第1希望、第2希望の演題分類を選択してください。

番号	演題分類
1	医薬品管理, 製剤試験
2	医薬品適正使用（抗菌薬, 向精神薬, 医療経済, 後発医薬品）
3	地域医薬品提供体制, 地域フォーミュラリ, 地域医療, 地域連携, 医療偏在
4	ダイバーシティ対応（外国人, 障害支援, LGBTQ+）
5	かかりつけ薬剤師・薬局, 患者のための薬局ビジョン
6	学校薬剤師, 薬物乱用防止
7	漢方（薬局製剤を除く）
8	危機管理, 災害対策, 災害医療, BCP
9	健康支援, 健康サポート薬局, 栄養指導, 禁煙支援
10	公衆衛生, 環境衛生
11	在宅医療, 介護福祉
12	小児医療, 乳幼児の服薬管理
13	スポーツファーマシスト, アンチドーピング
14	セルフメディケーション（要指導・一般用医薬品, 健康食品・サプリメント）
15	副作用, 相互作用, イベントモニタリング
16	服薬指導, オンライン服薬指導, 服薬管理, リフィル処方箋, フォローアップ
17	薬剤疫学
18	薬剤管理指導, 病棟薬剤業務, 薬物動態（TDM・投与計画）
19	薬局経営, 薬局形態

20	医療DX (IT化, 医療ICT, 電子処方箋, PHR, サイバーセキュリティ, AI)
21	薬局製剤, 調剤技術, 院内製剤 (輸液・経腸栄養管理, 無菌調剤)
22	医療安全対策・リスクマネジメント
23	感染対策
24	がん, 緩和医療, 麻薬, 化学療法, 高カロリー栄養, ACP
25	生涯学習, 薬学教育 (実務実習, 薬学研究), 専門薬剤師・高度薬学管理
26	多職種連携 (チーム医療, 薬業連携, ポリファーマシー, プロトコル, 薬剤情報提供, お薬手帳)
27	流通, 品質管理
28	女性の健康 (緊急避妊薬, 女性のライフステージ)
29	その他

### 〈留意事項〉

- ①会場やプログラムの構成の都合上、発表形式や演題分類について、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ②発表者は現地参加必須となります。
- ③発表者は必ず事前参加登録をお済ませください。

### (5) 一般演題優秀賞

本大会から「一般演題優秀賞」が新しくなります。詳細は大会ホームページをご確認ください。

日本薬剤師会では、口頭発表及びポスター発表を対象に優秀賞の選考を行います。

エントリーを希望される方は、演題登録の際に「エントリーする」を選択してください。

選考結果は、日本薬剤師会ホームページで公表するとともに、大会終了後に受賞者にE-mailにてご連絡し、日本薬剤師会ホームページ等でも公表いたします。

優秀賞に選ばれた場合、日本薬剤師会の国際交流プログラムに参加できる可能性があります。

### (6) 利益相反 (COI) の開示について

発表者 (筆頭演者のみ) は、発表内容に関連する利益相反状態の開示が必要です。

開示は、口頭発表の場合、タイトルスライドの次に入れてください。

ポスター発表の場合、下端にわかりやすく掲示してください。

### (7) 倫理審査等の確認

日本薬剤師会では、学術大会での研究発表にあたって、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、研究倫理に十分配慮することを求めています。したがって、倫理審査が必要な研究の場合、演題登録の時点で倫理審査を受けていないものは登録できません。

詳しくは、日本薬剤師会ホームページ「研究倫理」

のページ、日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会作成「倫理審査対象研究フローチャート」もご参照ください。

演題登録時には、下記の設問により確認を行います。

#### 〈確認内容〉

##### ●利益相反の有無

「有」「無」を選択

【参照】「日本薬剤師会における学術研究に係る利益相反規程」

##### ●倫理審査の有無

研究を行う上で、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等の規程を遵守する必要があります。ご発表予定の研究課題は、倫理審査委員会に申請の結果、承認されましたか。

次の①～③のいずれかを選択してください。

①倫理審査委員会に申請し、承認された

→ 倫理審査委員会名、承認番号を入力してください。

②倫理審査委員会に申請し、当該指針に該当する研究ではないという結果を得た

→ 倫理審査委員会名を入力してください。

③当該倫理指針における研究には該当しないため、倫理審査は未申請 (自己判断)

【参照】「日本薬剤師会学術大会 一般演題 (会員発表) の演題要旨投稿および発表に関するガイドライン」

(注)「倫理審査の有無」に関する設問への回答は自己申告であるため、当該研究成果が発表された際、倫理審査の要・不要について日本薬剤師会は一切の責任を負いません。

### (8) 登録規程

①演題名：全角60文字以内

②抄録本文：全角1,000文字以内。図表挿入不可

③発表者・所属：共同発表者は最大10名まで、発表者所属は最大11施設まで

### (9) 登録演題の確認・修正・削除

演題登録締切までは、以下の方法で何度でも確認・修正・削除が可能です。

①一般演題募集ページ内にある「確認・修正・削除」ボタンをクリックしてください。

②登録番号とパスワードを入力してください。

③画面上で修正し、最後に更新ボタンをクリックしてください。これで修正は完了です。

※修正は必ず上記の方法で行い、再登録はしないようお願いいたします。

削除も同様な方法で可能ですが、一旦削除すると元には戻りませんので、「修正・削除」のボタンの押し間違いには、くれぐれもご注意ください。

### (10) 演題受理通知

演題受理の通知は、演題登録時に入力されたE-mailアドレス宛てに届きます。演題登録の最終画面に登録番号が表示されない場合や、登録完了より1日経過

しても受領通知メールがお手元に届かない場合は、登録が完了していない可能性がありますので、第59回日本薬剤師会学術大会運営事務局までご連絡ください。

#### (11) 個人情報の取り扱いについて

本大会の演題登録システムは大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）を利用しています。演題登録にて収集した氏名・連絡先は運営事務局からの問い合わせや通知等、大会運営に必要な対応に利用します。また、氏名・所属・演題名・要旨は、ホームページおよび演題要旨集に掲載することを目的として利用します。登録された一切の情報は外部に漏れないように責任をもって運営事務局にて管理します。

#### (12) 採択審査

登録演題は査読委員会において、学術大会の発表演題として相応しいか否かなどを審査し、採択を決定することとします。演題の採否につきましては、査読委員会にご一任願います。査読の基準等は、「投稿規程」「投稿ガイドライン」でご確認ください。

#### (13) 採否通知

応募者（発表者）には、7月中旬（予定）に採否をE-mailで通知します。また、大会ホームページ上にも結果を掲載します。

#### 17. お問い合わせ先

- 日本薬剤師会事務局学術大会係  
公益社団法人日本薬剤師会  
〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1  
四谷安田ビル7階  
TEL：03-3353-1170 FAX：03-3353-6270
- 第59回日本薬剤師会学術大会事務局  
公益社団法人新潟県薬剤師会  
〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池1-3-16  
TEL：025-281-7730 FAX：025-281-7735
- 第59回日本薬剤師会学術大会運営事務局  
株式会社コングレ内  
〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5  
オンワードパークビルディング  
TEL：03-3510-3701 FAX：03-3510-3702  
E-mail：jpa59@congre.co.jp



交通案内図



■朱鷺メッセへのアクセス

